SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：菊池森林組合

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・森林組合系統運動及び中期経営計画により経営理念を明文化し、管理監督者は森林組合のあるべき姿を職員等に周知し共有している。 ・職員は自らの使命を理解している。 ・内部監査制度を導入し、定期的な内部監査を実施。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守に関する規定とマニュアル（組合倫理規範）があり、コンプライアンス委員会で定めた年間活動計画に基づき、役職員に対するコンプライアンス研修を実施している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・組合として、事業を受注するに当たり、地域の模範となるよう、不公正競争行為絶対行わないよう、全職員に対し周知徹底を図っている										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・事務分掌を明確にし、副査を定め事業遂行の円滑化を図っている。 ・地域森林整備の担い手としての責任の重さを認識するとともに、地域の環境に及ぼす影響について理解している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標及び著作権などについては、その権利を侵害することのないよう常に注意を払い使用している。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報の管理については、「特定個人情報の適正な取り扱いに関する基本方針」及び「特定個人情報等取扱規程」を定め、適切に保管するとともに、その利用については規定に基づき実施している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・施業の受託や住宅建築等請負っており、十分に協議し双方の意思を十分に確認すること、コミュニケーションを図ることに努めている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・手入れの行き届かない森林が顕在化する中、地域の森林整備を推進することが、延いては多様な生物保全に寄与することを認識している。 ・ハラスメントやコンプライアンス意識の向上を図るため、組合として研修会を実施している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・事業の承継を確実なものにするため、新規採用に努めているが、なかなか応募が無く苦慮しているのが現状。しかし、森林整備に関する技術の継承については、種々の機会を捉えて実施している。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用条件や職場環境における差別や各種ハラスメントの禁止について、「職員就業規則」や「コンプライアンス・マニュアル」に定め、差別しない職場体制の維持に努めている。また、差別やハラスメントに関する研修を実施し、内部通報窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・年3回、連携事業体と職員で労働安全会議を実施している ・年1回、全職員に対し労働安全衛生講習会を実施している。 ・共販所では車両等の進入を禁止する区画等を設置している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・給与規定を一本化（現業職員給与規定を廃止）し、給与体系を見直すなど、職員に対し公正な待遇の改善を実施している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・日常業務を計画的かつ効率的に実施するよう指導し、極力時間外勤務をなくし、心身の健康維持に努めている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・職員個人の資質の向上を図るとともに、組合の活動を円滑にするため、必要経費を組合が負担し、各種研修の受講、各種資格の取得を奨励している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断の経費を一部負担し、職員の健康状況の把握に努めている。 ・アルコール検知器を設置し、交通事故防止への注意喚起を図るとともに、健康管理への意識向上に努めている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・熊本県男女共同参画における「女性の社会参画加速化宣言」を行っている県森連と連携するとともに、「職員就業規則」に業務運営や昇進等に性別による差別をしない旨定め、実践している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・業務形態として現地作業が多いが、コンプライアンスや安全講習等を悪天候時にインターネットを活用した研修を実施している。 ・会議室を使用する際には、窓を開放するなど換気に努めている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：菊池森林組合

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・毒物劇物取扱責任者として有資格者を置き、購買者に対し、使用目的、場所、方法等を確認し販売するなど適切な管理に努めている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・高性能機械、フォークリフト等使用しており、免税軽油使用者として使用量を把握するとともに、機械を新規入替により燃費向上を図っている。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・電気使用量からCO2排出量を把握し、地域の森林整備を推進し、CO2吸収源機能向上に努める。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・森林資源の持続的活用を促進する事業を展開しており、適切な森林整備を通じて、生物多様性や生態系の維持に貢献している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・事務所の中で発生するごみの発生を抑えるとともに、分別を適正に行い再生利用に貢献している。 ・コピー用紙には間伐由来の「木になる紙」を使用するとともに、裏紙の利用に努めている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・森林の有する水資源かん養機能の高度発揮を考慮しつつ、森林整備を実施している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・コピー用紙には間伐由来の「木になる紙」を使用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・管内において企業等が実施する植樹祭、育樹祭等の企画、準備及び指導等を行い、地域に適した樹林の造成に協力している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・県森連と連携し、再生可能エネルギーである木質燃料を積極的に供給し、その利用促進に貢献している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・熊本県版育成経営体「くまもとの森林を守り育てる林業経営体」に登録。 ・組合員と連携し、持続可能な林業経営、森林の管理に努めている。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・伐採跡地への植林（再造林）及び企業等が行う植樹祭等への協力等の森林整備活動に取組んでいる。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・炭素を固定した木材を伐採、活用し、その跡地に苗を植え付け、二酸化炭素を吸収固定させること、即ちカーボンニュートラルな状況を維持することが重要であると考えており、積極的に伐採、造林を推進している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：菊池森林組合

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・竹が侵入し利活用に支障が出ている土地に散布して竹を枯らす薬剤を販売しているが、使用箇所、使用面積、周辺の状況等を確認し、必要最小限の散布を奨励している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・定年退職者を雇用するとともに、シルバー人材を活用するなど高齢者も就業できるような職場環境を整備している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・主として管内の端材を活用して「オガ粉」を生産し、地元の畜産業者等に販売している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・組合事務所は鉄筋構造であるが、外装、内装も木質部材で覆われた執務室となっている。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・建設造園業者等が有する技術を活用して作業道開設を行うなど、異業種連携を推進している。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地元の「林業研究グループ」の活動や児童・生徒を対象に森林学習等を行う際に、積極的に参加、協力するなどボランティア活動に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・気候変動対策のひとつと考えられる二酸化炭素吸収源、即ち森林資源を持続的に維持するため、自然に適応した森林整備を実践している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・災害発生時の道路等復旧活動について、連携し実施している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・森林整備の作業は危険が伴うことから、防護服、安全靴等の普及を図り、関係者に販売している。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・「誰一人取り残さない」という理念のもと、多様性と包摂性のある社会を実現するために、我々がなすべきことを示しており、今後、組合内においてSDGsの普及啓発を図る。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・児童等に対する木工教室、森林学習等実施するとともに、高校生に対するインターンシップ等を実施している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・昨年は高卒の若者を採用し、森林整備に従事させている。持続的な森林整備を実施するため、技術の伝承を図るためにも、新規採用に努めたい。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・企業等と連携し、植樹祭や森林学習等に指導者を派遣するなど森林、林業の普及啓発に努めている。 ・「くまもと林業大学校」に講師を派遣し、次代の担い手確保に協力している。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。